



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>			
建物名称	(仮称)スルガ銀行清水支店新築工事	BEE	1.5 BEEランク
		A	★★★★

2. 重点項目への取組み度			
重点項目	得点 <sup>**</sup> /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8 /5		ふつつ
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4 /5		ふつつ
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.8 /5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4点以上	ふつつ 3点以上
			がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	3.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>④建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤できる限り緑地を設けた</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦BPI<sub>m</sub>=0.82</li> <li>⑨BEI<sub>m</sub>=0.67</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪節水コマや省水型便器を採用し節水を図っている</li> <li>⑬リサイクル材を積極的に採用し、省資源に寄与している</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔		
	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上		
	LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制		
	LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒		
LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	2.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>特に無し</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	3.4
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑳階高3.7m以上確保</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>特に無し</li> </ul> </li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑳ 階高のゆとり 3.1.2 ㉑ 空間の形状・自由さ		
	Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	2.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/③敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>特に無し</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (④持続可能な森林から産出された木材/⑤温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>特に無し</li> </ul> </li> </ul>	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ② ② まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ③ 敷地内温熱環境の向上		
	LR-2 2 2.5 ④ 持続可能な森林から産出された木材 LR-3 2 2.2 ⑤ 温熱環境悪化の改善		

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)スルガ銀行清水支店新築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県静岡市清水区相生町42番,43	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	29人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,285時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年8月16日
敷地面積	869 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社静岡流
建築面積	527 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	1,060 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	78%
③上記+②以外の	78%
④上記+	78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

#### LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.6

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。建物利用者のための室内環境に配慮するとともに、地球環境への影響を考慮しリサイクル資材の積極利用やLED照明設備を採用した。		<b>その他</b> 特に無し
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用することで室内環境の品質を高めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 事務室は十分な天井高とし窓を配置、また執務面積に対し十分なリフレッシュスペースを計画し、従業員の執務環境の形成に配慮した。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI=0.82、BEI=0.67。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 省水設備を採用するなど、省資源に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼機器を使用せず地球環境に配慮した計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される